

リボンズハウス活動報告

【リボンズハウス名】藤田保健衛生大学七栗記念病院 コミュニティードーム

【スペース】本館1階緩和ケア病棟内（117.88㎡）

【開所時期】2005年6月

【オープン曜日・時間】毎日7:00～22:00

【スタッフ】緩和ケア・外科の医師 緩和ケア病棟看護師 ボランティア ボランティアコーディネーター

【利用状況】緩和ケア病棟入院患者および家族が中心に利用

2017年度のリボンズハウス活動内容

1. お茶会の開催

毎週水曜日 14:00～15:00

昨年度に引き続き、毎週開催している。事務員、歯科医師、歯科衛生士、医学生や看護学生、歯科衛生士や放射線技師など日々の関わりが少ない職種の参加も促している。

緩和ケア病棟入院時のオリエンテーションで、可能であればご家族も参加していただけるよう案内をしている。

参加して下さった患者様の写真を必ず1枚以上を撮影して、その日のうちに病室へ飾っており、参加できないご家族にも日中の患者さまの状態を知ってもらえるような取り組みをしている。

2. 中庭のリニューアル

地元の高校生（環境情報科/環境土木科 ガーデニングコース）による中庭をリニューアルした。これまでは手入れが行き届かない雑草や天候によっては外にすることも難しかった庭からタイル貼りや敷石、季節の花を植え、シンボルツリーを植樹。気候がよければ小さなテラスで過ごしていただけるスペースもあり、患者さまやご家族の生活の場を癒すことができる環境を提供している。

3. 緩和ケア病棟見学ツアーの実施

病院の新棟竣工式典に関連して、たくさんの方々をお招きして、緩和ケア病棟で行っているケアやコミュニティードーム、中庭の見学会を実施。その後も地域の医療従事者をはじめ、一般の方々へも見学会を実施して緩和ケアの啓蒙活動を行った。

これを機にコミュニティードーム内の書籍を整理してウィッグやパンフレットをみやすく設置。荷物を置くために一部パーテーションで覆っていた部分も荷物も整理することでパーテーションを取り払うことができ、より開放的な空間にして、明るく広い空間を患者さまやご家族に提供している。

4. 家族会の実施

今年度も7月と11月に緩和ケア病棟で亡くなられた患者様のご家族を対象としてグリーンケアを実施している。参加人数が増えたため、コミュニティードーム内での開催は困難となったが、開始前にはコミュニティードーム内でウェルカムドリンクを提供して少しの時間過ごしていただくことができた。

今後の活動および課題

限られた時間での関わりで、その人らしい最期を迎えていただけるようなサポートをするために、患者様のこれまでの人生に触れ、それを何かしらの形として残して患者様やご家族、関わるスタッフが共有することができればと思っています。